

イベント学会

2025 年度第 1 回理事会・通常総会

議案書

2025 年 6 月 17 日 (火)

15:00～16:30

於：全国中小企業振興機関協会 3 階会議室およびオンライン

審議事項

- 第 1 号議案 「会則」「理事・監事選任規定」改定の件
- 第 2 号議案 「2024 年度事業報告」承認の件
- 第 3 号議案 「2025 年度収支決算」承認の件
- 第 4 号議案 監事の選任について

報告事項

1. 大阪・関西万博「テーマウイークスタジオ」参加報告
2. 2025 年度事業計画について
3. 第 28 回研究大会について
4. 地域本部活動計画について
5. その他

第1号議案 「会則」「理事・監事選任規定」改定の件

- 会長（代表理事）の選任について、現状の会則では理事選挙により選任された理事から互選により選出することになっているものを、理事会推薦により候補者を選出し、総会の承認を受けて選任することに改める。
- 上記の会則改定にあわせ、理事・監事選任規定を改定する。

<会則改定案>

	現会則	改定案
第12条 役員の選任	<ol style="list-style-type: none"> 1. 理事および監事は、総会において、個人会員・準会員の中から選任する。 2. 総会における理事の選任は、個人会員による選挙により推薦された個人会員および、現会長（代表理事）および現副会長に推薦された個人会員・準会員について、過半数の承認を得て行うものとする。 3. 総会における監事の選任は自薦・他薦により、過半数の承認を得て行うものとする。 4. 総会が招集されるまでの間において、補欠または増員のため、理事または監事を緊急に選任する必要があるときは、前項の規定にかかわらず、理事会の議決を得てこれを行うことができる。この場合においては、当該理事会開催後最初に開催する総会において承認を受けなければならない。 5. 会長（代表理事）は、理事会において互選する。 6. 副会長は、会長（代表理事）が理事会に諮って、理事の中から選任する。 7. 常務理事は、必要に応じて、会長（代表理事）が理事会に諮って、理事の中から選任することができる。 8. 理事および監事は、相互に兼ねることができない。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長（代表理事）、理事、監事は、総会において、個人会員・準会員の中から選任する。 2. 総会における会長（代表理事）の選任は、理事会により推薦された候補者について、過半数の承認を得て行うものとする。 3. 総会における理事の選任は、個人会員による選挙により選出された候補者および、現会長（代表理事）および現副会長の推薦により選出された候補者について、過半数の承認を得て行うものとする。 4. 総会における監事の選任は、自薦・他薦された候補者について、過半数の承認を得て行うものとする。 5. 総会が招集されるまでの間において、補欠または増員のため、会長（代表理事）、理事、監事を緊急に選任する必要があるときは、前項の規定にかかわらず、理事会の議決を得てこれを行うことができる。この場合においては、当該理事会開催後最初に開催する総会において承認を受けなければならない。 6. 副会長は、会長（代表理事）が理事会に諮って、理事の中から選任する。 7. 常務理事は、必要に応じて、会長（代表理事）が理事会に諮って、理事の中から選任することができる。 8. 理事および監事は、相互に兼ねることができない。
第21条	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総会は、次の事項を決議する。 (1) 会則の変更に関する事項 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総会は、次の事項を決議する。 (1) 会則の変更に関する事項

会議の決議事項	(2) 理事・監事の選任に関する事項 (3) 事業報告および事業決算に関する事項 (4) 会費に関する事項 (5) 解散ならびに残余財産の処分に関する事項 (6) その他、本学会の運営に関する重要な事項	(2) 会長（代表理事）の選任に関する事項 (3) 理事・監事の選任に関する事項 (4) 事業報告および事業決算に関する事項 (5) 会費に関する事項 (6) 解散ならびに残余財産の処分に関する事項 (7) その他、本学会の運営に関する重要な事項
	2. 理事会は、次の事項を決議する。 (1) 事業計画および事業予算に関する事項 (2) 総会に決議すべき事項 (3) 総会の決議により委任された事項 (4) 事業ならびに会務執行に必要な規程の制定 および改廃に関する事項 (5) 委員会等の設置および廃止に関する事項 (6) 顧問に関する事項 (7) その他、総会の決議を要しない会務の執行 に関する事項	2. 理事会は、次の事項を決議する。 (1) 事業計画および事業予算に関する事項 (2) 総会に決議すべき事項 (3) 総会の決議により委任された事項 (4) 事業ならびに会務執行に必要な規程の制定 および改廃に関する事項 (5) 委員会等の設置および廃止に関する事項 (6) 顧問に関する事項 (7) その他、総会の決議を要しない会務の執行 に関する事項

＜理事・監事選任規定改定案＞

	現規程	改定案
規程名	理事・監事選任規定	会長（代表理事）・理事・監事選任規定
第1条 定義	イベント学会会則第12条に基づき、総会において選任される理事および監事の候補者（以下、「候補者」という）は、本規程にしたがって選出する。	イベント学会会則第12条に基づき、総会において選任される会長（代表理事）、理事、監事の候補者（以下、「候補者」という）は、本規程にしたがって選出する。
第2条 選出の方法	理事候補者の選任は、次の2つの方法によることとする。 (1) 選挙：個人会員を被選挙人として、個人会員の投票により10名以内を選任する。 (2) 推薦：会長（代表理事）および副会長により、個人会員・準会員のなかから5名以内を推薦する。 2. 監事の選任は、総会において個人会員のなかから互選する。	会長（代表理事）候補者は、理事会の推薦により1名を選出する。 2. 理事候補者は、次の2つの方法により選出する。 (1) 選挙：個人会員を被選挙人として、個人会員の投票により10名以内を選出する。 (2) 推荐：現会長（代表理事）および現副会長により、個人会員・準会員のなかから5名以内を推薦する。 2. 監事候補者は、自薦・他薦により個人会員のなかから2名を選出する。
第6条 総会への付議	現会長（代表理事）は、理事候補を理事会に諮った後、総会に付議するものとする。	現会長（代表理事）は、会長（代表理事）、理事、監事候補者を理事会に諮った後、総会に付議するものとする。

第2号議案 「2024年度事業報告」承認の件

(1) 第27回研究大会

■開催テーマ

愛知・名古屋のチカラとは?
なぜ!何が!この地域を元気にしているのか

「愛知は、県民所得2位であり、世帯所得も東京に次ぐ高さを誇っています。そして基幹産業である自動車や航空宇宙を始め、ロボット、繊維、陶磁器など様々なモノづくり産業が集積し、世界有数の産業集積地としても変わらず日本の成長をリードしています。

また、近年の愛知・名古屋を取り巻く環境は、愛・地球博記念公園におけるジブリパーク2期開園、世界初・世界最高レベルのスタートアップの中核支援拠点「STATION Ai」やIGアリーナ（愛知県新体育館）のオープン、さらに愛・地球博20周年イベント、愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会、国際技能五輪大会の開催など、ビッグプロジェクト及びイベントが続々と展開されます。

全国トップを走るこの勢いは、何が支えているのか。「この地域の元気の源は何か!」それを改めて検証し評価する事が重要です。

イベント学会の理念「イベントは新たな時代を創造する」に則し、本研究大会では次世代に繋がるインキュベートや新たなる地方創生、文化創造を考えていきます。

■開催概要

名 称：第27回イベント学会研究大会 中部地域大会

テーマ：愛知・名古屋のチカラとは?～なぜ!何が!この地域を元気にしているのか～

日 程：2024年12月14日（土）・15日（日）

会 場：1日目（14日）研究大会

愛知県インキュベート STATION Ai イベントホール 大会議室

愛知県名古屋市昭和区鶴舞1丁目2番32号

2日目（15日）エクスカーション

ジブリパーク愛・地球博記念公園(モリコロパーク)

愛知県長久手市茨ヶ廻間乙1533-1内

主 催：イベント学会

後 援：愛知県、名古屋市、中日新聞社

共 催：一般社団法人日本イベント産業振興協会

一般社団法人日本イベント協会、日本イベント業務管理士協会

■実行委員会

実行委員長：谷喜四郎顧問

実行委員：古澤礼太理事、原田伸介理事

■参加実績

研究大会（基調講演、トークセッション、パネルディスカッション）110名

懇親会 33名

エクスカーション 29名

■1日目（研究大会）プログラム内容

10:00 開会挨拶：中村利雄（イベント学会会長）

来賓挨拶：大村秀章（愛知県知事）

10:30 基調講演／特別対談「愛知・名古屋のチカラとは？～なぜ！何が！この地域を元気にしているのか～」

中村利雄（イベント学会会長）×大島宇一郎（中日新聞社 代表取締役社長）

モデレーター：佐藤久美（イベント学会会員、名古屋国際工科専門職大学教授）

11:30 休憩／昼食ポスターセッション

13:00 実行委員長挨拶：谷喜久郎（第27回イベント学会研究大会実行委員長）

来賓挨拶：中田英雄（名古屋市副市長）

13:20 トークセッション「これから愛知・名古屋！明日に向けての期待」

村手聰（愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会 事務総長）

八木克勝（杭州2022パラアジア競技大会金メダリスト）

司会進行：新井野洋一（イベント学会会員、愛知大学 元地域政策学部長）

14:00 パネルディスカッション「地方創生、いのちと文化の再生」（海・河川・山・里山・都市）

名古屋三川整備：秀島栄三（名古屋工業大学大学院教授）

地域創生事業：稻本正（食と健康の森事業プロデューサー）

名古屋栄地区再生：大澤和宏（名古屋テレビ塔株式会社社長）

コーディネーター：古澤礼太（イベント学会中部地域本部副本部長）

15:30 研究発表（口頭発表）

17:50 閉会挨拶：原田伸介（イベント学会中部地域本部 事務局長）

18:00 懇親会

■研究発表（口頭発表）一覧 ※抄録は別章掲載

		A室	B室
座長	氏名	上代圭子	福井昌平
	所属	東京国際大学人間社会学部准教授	CI戦略プロデューサー
15:30-15:50	発表者	照屋琴実	川本勇
	所属	広島経済大学	株ユーストン/関西・歴史文化首都パワー発信プロジェクト統括プロデューサー
	題目	地域運動会を通じたソーシャルキャピタルと地域愛着の醸成－沖縄県伊江村に着目して－	関西・歴史文化首都パワー発信プロジェクト
15:50-16:10	発表者	太田明李	古澤礼太
	所属	中京大学大学院	中部大学
	題目	FIFA女子W杯開催前後におけるスタジアム観戦決定要因の類似点と相違点:WEリーグを事例として	「いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話プロジェクト」にみるマルチステークホルダー参加型フォーラム
16:10-16:30	発表者	山口志郎	加藤茂男
	所属	流通科学大学	株式会社ヘッズ東京本社
	題目	神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会におけるボランティアのセグメンテーション:参加動機を用いたクラスター分析による分類	2027横浜国際園芸博覧会【日本を元気にする横浜モデル】

		A室	B室
座長	氏名	林秀敏	川西太士
	所属	名古屋市立大学SDGsセンター長	株式会社EFK代表取締役
16:40-17:00	発表者	植竹香織	長谷川洋一
	所属	ポリシーナッジデザイン合同会社	一般財団法人ワンアース
	題目	ルールか、その場の状況か?－イベント会場におけるごみ捨て行動を対象としたフィールド実験－	宇宙ステーション利用による地域活性化イベントについて(宇宙植物等、東北復興宇宙ミッションのレガシーを活用して)
17:00-17:20	発表者	海豪うるる	佐藤久美
	所属	地方創生コンサルタント/関西・歴史文化首都フォーラムAP	名古屋国際工科専門職大学
	題目	グローバル企業のレビュー・マネジメントの地方創生、地域ブランディングへの応用	日本の「うま味」UMAMIを世界へ～愛知の発酵・醸造文化を知ろう～
17:20-17:40	発表者	上代圭子	稻本正
	所属	東京国際大学人間社会学部准教授	オークハーツ
	題目	続々プロスポーツクラブスタッフのキャリアに関する研究 雇用者側の詳細な意識	『共生進化ネット』の試みと展望 リアルイベントと旧メディアとSNSの関係

■懇親会

18:00 開会挨拶：福井昌平（イベント学会副会長）
乾杯発声：谷喜久郎（第 27 回イベント学会研究大会実行委員長）

18:07 歓談：愛・地球博の映像上映

18:30 学生プレゼン：愛知大学学生/中部大学学生

18:40 歓談：愛・地球博の映像上映
成果報告：師岡 文男（イベント学会副会長）

19:30 閉会挨拶：橋爪 紳也（イベント学会副会長）

■2日目（15日）エクスカーション内容

特別エクスカーション「ジブリパーク視察」

- ・ジブリの大倉庫の入場券を 12:00 と 13:00 の 2 回に分けて 25 名ずつ入場
- ・実際の入場は一般のお客様の待ち列がはける 12:30 と 13:30
- ・券種は「ジブリパーク大さんぽ券」（お一人 4,000 円）
- ・大倉庫のみ時間指定で、5 エリアすべてご入場可、ただし「地球屋」（青春の丘）、「サツキとメイの家」（どんどこ森）、「オキノ邸」「ハウルの城」「魔女の家」（魔女の谷）の建物の内部は視察不可
- ・当日ジブリパーク入口で「入場許可証」を配布。
- ・当日参加者 12:00、13:00 合計 29 名

■写真資料



(2) TEAM EXPO 2025

2022年度、2023年度に引き続き、大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」に「共創パートナー」として参加した。

愛・地球博で実現された「市民参加」の理念を継承し、大阪・関西万博の成功と万博の発展、万博による社会の持続可能な発展に貢献するために、一般財団法人地球産業文化研究所と共同で企画委員会を設置、運営するとともに、「歴史文化」「水と流域」「自然遺産」をテーマとする3つの共創チャレンジを推進した。

あわせて大阪・関西万博会場内において3チャレンジの成果発表を行うことを計画、博覧会協会と調整の上、5月6日、テーマウィークスタジオに参加することを決定、推進体制を整備し、各種準備作業を推進した。

■企画委員

中村利雄会長

蔵元進（一般財団法人地球産業文化研究所専務理事）

福井昌平理事・副会長

信時理人理事

宮本倫明理事（共創チャレンジ「関西・歴史文化首都フォーラム」推進事務局長）

古澤礼太理事（共創チャレンジ「いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話」代表）

小野寺浩（共創チャレンジ「国内5世界自然遺産に見る自然と社会の共生と未来に残すべき人類の遺産」代表）

事務局：守屋慎一郎理事・副事務局長、内田なお子

■令和6年度活動報告

1. 企画委員会の開催

第1回企画委員会

日時：2024年4月30日（火）15:00～16:30

場所：全国中小企業振興機関協会 3F 会議室 + オンライン

第2回企画委員会

日時：2024年9月5日（火）15:00～16:30

場所：全国中小企業振興機関協会 3F 会議室 + オンライン

第3回企画委員会

日時：2025年3月3日（月）15:00～16:30

場所：全国中小企業振興機関協会 3F 会議室 + オンライン

2. 個別共創チャレンジ支援

1) 関西・歴史文化首都フォーラム

歴史文化を学ぶことが「未来」を考える重要な足がかりになると想いから、『歴史文化首都』としてのポテンシャルを持つ関西の魅力をアピールする対話と交流の場の構築。

2024年度は、奈良県、和歌山県、大阪府でフォーラムを実施するとともに、後継事業としての「関西・歴史文化首都パワー発信プロジェクト」を構想、大阪・関西万博への参加に向け、観光動画の企画・制作を推進するとともに、キックオフイベントを開催した。

①フォーラムの開催

ア) 関西・歴史文化首都フォーラム 奈良 開催テーマ『源』

『The Place Where It All Began — はじまりの場所 —』

開催日時：2024年5月16日（木）シンポジウム 13:00～17:15／交流会 17:30～19:30

開催場所：奈良公園バスターミナル

イ) 関西・歴史文化首都フォーラム 和歌山 開催テーマ『道』

『Road is Japanese Spirit. 一道は日本のこころ—』

開催日時：2024年9月14日（土）13:00～16:00

開催場所：和歌山城ホール

ウ) 関西・歴史文化首都フォーラム 大阪 テーマ『芸』

『うごくものがたり — 関西の歴史・文化のバトンをつなぐ —』

開催日時：2025年1月22日（水）12:30～16:30

開催場所：堺市民芸術文化ホール（フェニーチェ堺）

②大阪・関西万博参加へ向けた新たなステップへの事業構想

ア) 『未来型・歴史文化観光動画』の企画・制作

関西二府四県のメディアと協力関係を築き、各地方テレビ局がリーダーシップを取って、参加体験と誘客につながる『未来型・歴史文化観光動画』を企画・制作。

イ) 大阪・関西万博の出展参加キックオフイベント

当プロジェクトのプレスリリースを発行、公開記者会見、関係者が一堂に集まる交流会を趣旨としたキックオフイベントを実施。

日程：令和6年11月1日（金）12:30～

場所：琵琶湖（豪華客船「ビアンカ」において実施）

2) いのちをつなぐ水と流域・地球市民対話

いのちを育む「水」と、人々が交流する生活の場としての「流域」に焦点をあて、持続可能な社会づくりの新たな手法を検討し、その成果を国際的に発表。

2024年度は、東京湾流域圏を主な題材とした全国フォーラムを開催、全国の活動団体と議論を深めた。

①いのちをつなぐ水と流域・地球市民フォーラム in Tokyo 2025

日時：2025年2月22日（土）10:20～18:10

場所：国連大学ウ・タント国際会議場

3) 世界自然遺産5地域会議

「自然と社会の共生と未来に残すべき人類の遺産」をテーマに、世界自然遺産を有する日本国内5地域、24団体が参加する会議体を形成。

2024年度は、3つの共創チャレンジが合同で参加するテーマワーキングスタジオでの成果発表加え、6月5日にEXPOホールでの催事を実施することを決定したことから、両イベントの実施に向け、各種調整業務を推進した。

①大阪・関西万博参加へ向けての合意形成と参加事業構想づくり

ア) 万博参加コアメンバー会議の設置・開催

令和6年7月2日（木）、都市センターホテル会議室にて開催（オンライン併用）

万博参加企画・実施方針案について協議

イ) 「大阪・関西万博の参加事業企画案と意向等に関するアンケート」の実施

調査対象：世界自然遺産5地域会議会員24団体（屋久島環境文化財団を除く）の実務担当者

調査実施時期：2024年8月5日～8月30日

調査項目：参加意向、負担金・参加内容への意向、地域紹介・解説の有識者・芸能パフォーマー派遣意向、展示コンテンツの可能性、など

ウ) アンケート結果に基づく補足説明と意見交換の会の開催

地域別（一部は市町村）に各2～3回計17回、事務局とオンラインで協議

議題は負担金、プログラムへの参加、企画内容意向についての合意

②第3回世界自然遺産5地域会議の開催

日時：2024年11月19日（火）10:00～12:00

会場：航空会館ビジネスフォーラム501・502号室／リモート会議併用（アーカイブ配信あり）

3. テーマワーキングスタジオ参加企画および実施準備

大阪・関西万博会場内にて3つの共創チャレンジの成果を発表するために、複数の参加方法を検討した結果、大阪・関西万博が推進する「テーマワーキング」に参加することを決定、博覧会協会への各種申請書類の提出、個別プログラムの調整等を推進した。

(3) 地域本部

1) 東日本地域本部

本部長：岡星竜美理事 副本部長：町田誠理事
事務担当：田中力会員、加藤茂男会員

①イベント大学 powered by イベント学会

2023年1月に開催した東日本地域本部「2023新年の集い」のセッション「新春初夢企画構想！妄想？『イベント大学』」において議論しあったイベント大学構想を受け、2024年4月に、オンライン上で「イベント大学 powered by イベント学会」として開校した。

(<https://www.youtube.com/@event-university>)。

②第6回イベント研究発表大会

【第一部】特別企画「巨大地震に備えてイベントができること」

(一社)日本イベント協会・イベント総合研究所／東京富士大学・イベント社会工学研究所が主催した「第6回イベント研究発表大会」の【第一部】特別企画「巨大地震に備えてイベントができること」を共催、東日本地域本部の岡星(目白大学特任教授)と北原(東京富士大学教授)が登壇した動画を撮影し、イベント大学の新コンテンツとしてアップした。

日時：2024年11月30日(土) 10:30～12:00

会場：東京富士大学 本館1階メディアホール

③「イベント大学・オープンラボ Vol.1～サステナビリティへようこそ！」

リアルでのイベント大学・オープンラボ第一弾として開催。イベント業界でも大きな課題である”サステナビリティ”をテーマに掲げ、贊助会員である電通ライブの大高良和氏によるセミナーとサステナブルイベント協議会によるワークショップを実施した。

日時：2025年3月8日(土)13:30～18:00

会場：新橋プレイス5階 AP 新橋 ルームI(アイ)

主催：イベント学会 東日本地域本部

2) 中部地域本部

本部長：谷喜久郎顧問 副本部長：古澤礼太理事
事務担当：原田伸介会員

※研究大会、TEAM EXPO 2025 共創チャレンジに注力したため、地域本部活動実績はなし。

3) 西日本地域本部

本部長：宮本倫明理事 副本部長：信時正人理事、川井徳子会員
事務担当：井野良子会員
※TEAM EXPO 2025 共創チャレンジに注力したため、地域本部活動実績はなし。

(4) 研究助成

2024 年度は下記、一般 1 件、学生 2 件の研究を採択し、中間報告および最終報告を受領した。

2025 年度は一般 2 件、学生 1 件の応募があり、審査委員会により厳密な審査を行なった結果、下記の申請に関して研究の意義を認め、助成を行うものとした。

■審査委員会

委員長：橋爪紳也理事・副会長

委員：原田伸介理事、川西太志理事、山口志郎理事

■2024 年度研究助成

①一般：サステナブルなイベント運営に向けた行動科学及びナッジの活用に関する研究（その 2)

申請者：植竹香織会員

助成金額： 300,000 円

②学生：女子 W 杯開催後におけるスタジアム観戦決定要因の類似点と相違点：WE リーグを事例として

申請者：太田明李準会員

共同研究者：伊藤央二非会員（2024 年 5 月に個人会員として入会）

助成金額： 100,000 円

③学生：地域行事を通じたソーシャルキャピタルと地域愛着の醸成 一沖縄県伊江村の陸上競技会に着目してー

申請者：照屋琴美未準会員

共同研究者：岡安功会員

助成金額： 100,000 円

■2025 年度研究助成

①一般：メガスポーツイベントの大会組織委員会に関する事例研究

申請者：野仲賢勝会員

共同研究者：上代圭子会員、東明有美非会員

助成金額： 300,000 円

②学生：ステアクライミングチャレンジにおける参加動機のプッシュブル要因：イベント開催施設の文化遺産価値による比較検討

申請者：太田明李準会員

助成金額： 100,000 円

(5) 機関誌「イベント学研究」

イベント学会機関誌『イベント学研究』第8巻を編集し、発行した。2024年度より編集委員を刷新し、新体制で臨んだ結果、多くの原著論文、成果報告などが投稿されたほか、新たな試みとしてJ-Stage(※)への登録を行うことを予定している。

※J-Stageとは (<https://www.jstage.jst.go.jp/static/pages/JstageOverview/-char/ja>より)

「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE)は、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が運営する電子ジャーナルプラットフォームです。J-STAGEは、日本から発表される科学技術(人文科学・社会科学を含む)情報の迅速な流通と国際情報発信力の強化、オープンアクセスの推進を目指し、学協会や研究機関等における科学技術刊行物の発行を支援しています。

現在J-STAGEでは、国内の2,400を超える発行機関が、4,000誌以上のジャーナルや会議録等の刊行物を、低コストかつスピーディーに公開しています。

J-STAGEで公開されている記事のほとんど*は、PCやタブレット、スマートフォンを利用して、世界中から誰もが閲覧できます。無料のアカウントサービス「My J-STAGE」に登録すると、よく使う検索条件を保存したり、お気に入りの資料について最新号発行の通知を受け取ったりすることができます。

*認証付き記事(各発行機関から許可を受けたユーザーのみが閲覧できる記事)を除く

■編集委員会

委員長：山口志郎理事（流通科学大学）

副委員長：伊藤央二理事（中京大学）

委員：上代圭子理事・事務局長（東京国際大学）田村匡会員（大阪成蹊大学）、青山将己会員（流通科学大学）

■発行日：2025年3月31日

■投稿論文

【原著論文／4件】

植竹香織、安藤香織、三浦輝久

イベント会場における来場者の自発的なごみ分別行動の促進：

ごみの回収頻度の増加とナッジラベル掲示の効果検証

野仲賢勝、上代圭子、東明有美、吉村雅文

プロスポーツクラブの指導に関わる若年労働者の就業に関する研究：

Jリーグを事例として

太田明李、伊藤央二

スタジアム観戦経験に基づくスタジアム愛着：

FC岐阜の岐阜メモリアルセンター長良川競技場に着目して

山口志郎、青山将己、遠藤華英

神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会におけるボランティアのセグメンテーション：

参加動機を用いたクラスター分析による分類

【研究資料／3件】

田村匡

イベントの経済波及効果算出時の投入金額についての一考察：

2003年・2005年阪神タイガース優勝時のビールの年間消費支出金額及び製成量に着目して

廣澤美花

コロナ禍においてのブライダル業界の対応：新しいコミュニケーションの模索

照屋琴実、岡安功、山田亜沙妃

地域運動会を通じたソーシャルキャピタルと地域愛着の関係性：

沖縄県伊江村に着目して

【実践報告／1件】

青山将己、山口志郎、遠藤華英

神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会における子どもの学びプログラム

(6) ウェブサイト改修

昨年度に引き続き、今年度は小規模な修繕のみとし、その他、会員からの情報提供などに対応し、お知らせ等の更新を行なった。小規模修繕での修正点は以下のとおり。

- ・第27回研究大会ページの制作
- ・第26回研究大会アーカイブページの制作

(7) JACE 交流会

以下のとおり開催した。

日時：2024年10月1日 18:00-20:00

会場：シーボニアメンズクラブ（東京都千代田区内幸町2丁目1-4 日比谷中日ビル）

参加者：

イベント学会：中村会長、福井副会長、師岡副会長、橋爪副会長、上代事務局長、

守屋副事務局長

JACE： 石井会長、成田相談役、津川専務理事、中尾常務理事

II. 運営に関する事項

(1) 総会・理事会・運営会議等

総会、理事会、運営会議を以下のとおり開催した。

会長、事務局による個別報告会、事務局のみによる会議等はこれを省略す。

開催日	種別	主な議題
6月18日	第1回理事会・通常総会	第1号議案 「2023年度事業報告」承認の件 第2号議案 「2023年度収支決算」承認の件 第3号議案 「理事・監事選任」承認の件
6月18日	第2回理事会	第1号議案 役員の選任について
10月1日	第1回運営会議	1) 2024年度研究大会について 2) TEAM EXPO 進行状況について 3) 機関誌の進行状況について 4) 研究助成の進行状況について 5) 2024年度入会・退会状況について 6) 2024年度収支状況について 7) 内田事務局員のPC使用料について 8) 会長選出に関する会則の改訂について 9) その他、次回運営会議および2025年新年会について
1月9日	第2回運営会議	1) 会則および理事・監事選任規定の改定について 2) 次回研究大会の開催場所および実行委員長について 3) その他報告事項 4) 2024年度収支状況について 5) 理事会の開催について
2月10日	第3回運営会議	1) 第3回理事会資料について 2) 2025年度研究大会について 3) その他報告事項 4) 理事会開催案内について
3月31日	第3回理事会	第1号議案 「会則」「理事・監事選任規程」改定について 第2号議案 「2025年度事業計画(案)」について 第3号議案 「2025年度収支予算(案)」について

第3号議案 「2024年度収支決算」承認の件

(1) 収支計算書

自. 令和6年4月1日 至. 令和7年03月31日

イベント学会

収入の部

科目	摘要	予算金額	決算金額	比較増減
前年度繰越金		4,152,195	4,152,195	0
入会金収入		(150,000)	(35,000)	(△115,000)
個人会員入会金		50,000	35,000	△15,000
賛助会員入会金		100,000	0	△100,000
会費収入		(5,610,000)	(4,700,000)	(△910,000)
個人会員年会費		1,800,000	1,495,000	△305,000
準会員年会費		10,000	5,000	△5,000
賛助会員年会費		3,800,000	3,200,000	△600,000
事業収入		(2,450,000)	(4,150,928)	(1,700,928)
研究大会		450,000	649,000	199,000
東日本地域		0	32,000	32,000
team expo		2,000,000	3,469,928	1,469,928
雑収入	受取利息	0	1,623	1,623
当期収入合計		(8,210,000)	(8,887,551)	(677,551)
収入合計		12,362,195	13,039,746	677,551

支出の部

科目	摘要	予算金額	決算金額	比較増減
事業費		(5,675,000)	(5,584,858)	(△90,142)
研究大会		1,350,000	1,652,720	302,720
東日本地域		350,000	236,280	△113,720
中部地域		350,000	0	△350,000
西日本地域		350,000	0	△350,000
ジャーナル発行		400,000	527,045	127,045
ウェブサイト改訂		300,000	68,000	△232,000
研究助成		500,000	500,000	0
顧問会議・運営会議		75,000	66,000	△9,000
team expo		2,000,000	2,534,813	534,813
管理費		(2,535,000)	(2,369,790)	(△165,210)
業務委託費		1,000,000	1,000,000	0
会議費		150,000	64,305	△85,695
旅費交通費		150,000	41,680	△108,320
消耗品費		50,000	44,046	△5,954
通信運搬費		400,000	378,528	△21,472
資料作成・印刷費		300,000	177,763	△122,237
賃借料		400,440	620,000	219,560
雑費		50,000	37,258	△12,742
振込手数料		0	6,210	6,210
予備費		34,560	0	△34,560
当期支出合計		(8,210,000)	(7,954,648)	(△255,352)
次年度繰越金		4,152,195	5,085,098	932,903
支出合計		12,362,195	13,039,746	677,551

(2) 主要増減

① 収支全体について

2024年度は単年度収支を均衡させる前提で収支予算を編成したものの、結果として、当期収入合計は8,887,551円（677,551円増）、当期支出合計は7,954,648円（255,352円減）となり、単年度収支＝次年度繰越金は932,903円増となった。

主たる要因は、本来2023年度収入とすべき2023年度のTEAM EXPO事業費935,445円が2024年度の振込みとなつたことにより、これを除くと収支はほぼ均衡している。

全体としては、入会金収入、会費収入が未達となる一方で、TEAM EXPO事業に注力した結果として地域本部活動が減少したほか、事務費の削減努力などにより、収支均衡が保たれている状態となっている。

② 収入の部

入会金 : 新規賛助会員獲得数が予定に達しておらず、予算を下回る。

個人会員年会費 : 新規加入がある一方で退会者もあり、個人会員数が目標に達していないほか、未納者もいるため予算を下回る。

賛助会員年会費 : 賛助会員数（協賛口数）が目標に達しておらず、予算を下回る。

研究大会参加費 : 懇親会、エクスカーションの参加費を加えているため、予算を上回る。

TEAM EXPO : 2023年度事業費の一部、935,445円が2024年度の振込となつたこと、2024年度事業費について、当初2,000千円の実施契約を予定したもの、テーマワーキングスタジオへの参加を決定したことから、これに必要な準備作業を行うために2,600千円で実施契約を締結した結果、大幅に増加している（2023年度事業分を除く事業収支は均衡）。

東日本地域本部 : 2025年3月に実施したオープンラボの懇親会参加費を計上。

参考：現在会員数（2025年3月）

種別	会員数	備考
個人会員	166	2024年度会費未納者含む
準会員	4	
賛助会員	24	34口

③支出の部

<事業費>

- 研究大会：懇親会およびエクスカーションの実施費用分の増加。
- TEAM EXPO：当初 2,000 千円で予算を組んだものの、テーマWiークスタジオへの参加準備のため 600 千円を加え、事業実施契約を締結。ほぼ実施契約どおりの支出となる。
- 東日本地域本部：「イベント大学」のコンテンツ収録、3月に実施したオープンラボの運営費用等を計上。予算は下回る。
- 中部地域本部：TEAM EXPO に注力したため地域本部活動は実施せず。
- 西日本地域本部：TEAM EXPO に注力したため地域本部活動は実施せず。
- 研究助成：2024 年度助成金を支給。規定数通りの採択数のため増減なし。
- 機関誌発行：印刷にかかる人件費、材料費の上昇、印刷所側編集作業の増加などにより増加。次年度以降は、編集委員の負担にも考慮しつつ、適切な予算配分を行う必要あり。
- ウェブサイト改修：大規模な改修がなかつたため減。
- JACE 交流会：1 回の実施、ほぼ予算どおり。

<管理費>

- 業務委託費：内田事務局員への業務委託費。予算どおり。
- 会議費：会食を伴う会議の減少および一部参加者負担などにより減。
- 旅費交通費：TEAM EXPO 関連旅費を TEAM EXPO 事業費としていること、役員各自の協力などにより減。
- 消耗品費：リモート会議用スピーカーを購入。これを含めほぼ予算どおり。
- 通信運搬費：ほぼ予算どおり。
- 資料作成・印刷：リモート会議の活用等により減。
- 賃借料：JACE 事務所家賃の学会負担分 400,440 円（振込手数料含む）を予算計上。本年度より振込手数料を別行としたため、家賃負担は 400,000 円となった。
加え、内田事務局員の前所属会社より内田事務局員の PC 使用について負担要請あり、これを承認したことにより、4 月～1 月の 10 ヶ月合計 220,000 円を追加支出。
- 振込手数料：今年度より振込手数料は別行にて管理。

(3) 口座残高

①みずほ銀行

2025年 4月 1日

102-0082
千代田区 一番町 13-7 一番町KGビル3F

イベント学会 様

04011 000 401103
0021-00 000000 001 0009184#
*3*312-*13* 20206004 000 -
002100_*

株式会社みずほ銀行

麹町支店
〒 102-0083
東京都千代田区麹町 3-2
TEL: 03-3265-8181

TEL:03-3265-8181

殘 高 証 明 書

イベント学会 様

証明基準日 2025-3-31 現在

貴方ご名義の上記勘定残高について相違ないことを証明いたします。

- (注) 1. この証明書の金額は訂正いたしません。
2. 摘要欄の「手形」の金額は、残高のうち未決済の手形・小切手金額を表示しています。
3. 摘要欄の「貸越」の金額は、貸越金額を表示しています。
4. 「普通預金＊」は無利息型です。

銀行名 株式会社みずほ銀行

発行店 韻町支店

②ゆうちょ銀行

振替口座残高証明書

口座番号	00120-0-357450
------	----------------

加入者名	イベント学会
------	--------

令和 7年 3月31日現在の口座残高

***** * 3, 513, 096円

上記のとおり証明します。

令和 7年 4月 1日
ゆうちょ銀行之印

このご案内につきまして、ご不明な点などがございましたら、
お手数ですが、貯金事務センター（電話番号は表面に記載）まで
お問い合わせください。

(4) 監査報告

イベント学会 会長 中村利雄 様

監査報告書

イベント学会の 2024 年度（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）
事業報告および計算書類は、適正かつ妥当であるものと認めます。

2025 年 5 月 13 日
イベント学会

監事 津川 敦

津川 敦

監事 松平 輝夫

松平 輝夫

第4号議案 監事選任の件

現監事、津川敦個人会員が(一社)日本イベント産業振興協会専務理事を退任されることに伴い、新たに(一社)日本イベント産業振興協会専務理事に着任予定である大畠琢会員を監事に選任する。